

「野洲の元気と安心を伸ばす」 平成27年度予算が決まりました！

市の総合計画に掲げる都市像「豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまちくみんが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり」の実現に向け、6つの「まちづくりの基本目標」のもとに各事業に取り組む、豊かな環境と安全で活力あるまちづくりを実現します。

*問い合わせ
財政課
☎ 587-6069
FAX 586-2200

総額384億4,513万8千円

○会計別予算規模	
一般会計	230億5,000万円
特別会計	141億9,914万4千円
水道事業会計	11億9,599万4千円

豊かな人間性を はぐくむまち

安心して子どもを生み育てることができるよう、幼稚園と保育園を一元化したことも園の整備を進め、耐震化によるの安全の確保や定員増によ

る待機児童の解消をめざします。

学校の学習環境では、市内の小・中学校の内おの1校をモデル校として、ICT環境の整備を進めるためタブレットなど関連機器を導入します。また、特別支援教育や不登校児童・生徒の支援を充実します。不登校など、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒には、それぞれの特性に応じてきめ細かく指導します。

人とひとが支え合う 安心なまち

本市の地域医療サービスの継続に向けた中核的医療拠点として、(仮称)野洲市立病院の整備を進めます。

市民生活相談では、生活困窮状態に陥っている人を対象に就労支援や家計相談支援を行うなど、市役所の総合力で相談者の発見、生活支援を実施します。また、貧困連鎖を

断ち切ること、貧困化を防ぐことを目的として、新たに学習支援事業に取り組みます。障がい者福祉対策では、障がいのある人やその家族等が身近に相談できる拠点を新たに整備し、安心して地域で自立した生活を送るための支援を充実します。

地域を支える 活力を生むまち

農林漁業の振興では、農業者と非農業者が共同で、あるいは農業者が単独で取り組む農地や農業用施設の保全活動、農村環境向上のための活動を支援します。

また、野洲川花火大会を含む野洲市夏まつりを、市民と行政が協働して開催することにより、地域資源を生かした活力ある大会をめざします。

美しい国土を 守り育てるまち

新クリーンセンターの平成

28年10月の操業開始に向けて、事業の最終段階として、施設本体の建設工事を行います。

つるおいとにぎわい のある快適なまち

本市と近江八幡市、竜王町が共同で進めている篠原駅周辺都市基盤整備では、自由通路と駅舎の工事を完了し、今秋から供用します。

野洲駅周辺整備では、南口周辺整備の基本計画の策定や、北口広場における歩行者の安全性の確保や車両交通の混雑解消のため、横断歩道橋等の整備を行います。

交通安全施設整備事業では、通学児童をはじめとする歩行者等の安全確保を図り、道路安全施設等の適正な維持管理と整備を進めるとともに、危険度の高い道路の整備や修繕を行うほか、橋梁の長寿命化工事を進めます。

市民と行政が ともにつくるまち

市ホームページをリニューアルし、速やかで的確な情報提供に取り組みます。

また、市の大型バスが老朽化していることから、市民活動を推進するとともに安全で快適なバス運行の確保を図るため、新規車両に更新します。

☆施策・事業の財源

主な財源となる市税は、約84億8800万円、平成26年度当初予算比で約1億9700万円の減収見込み(2.3%減)です。景気の緩やかな回復傾向により、個人市民税が約2700万円、固定資産税が約4200万円の増収を見込んでいますが、法人市民税では約2億5300万円の減収見込みとなっています。

地方交付税は23億9500万円の見込みで、平成26年度当初予算比で3500万円減の予算となっています。

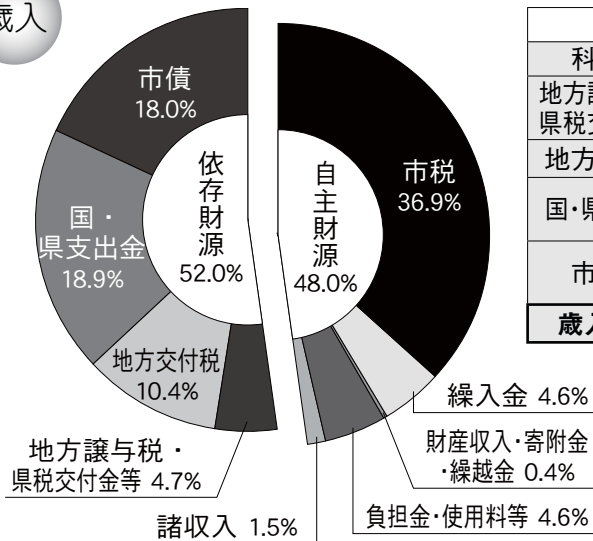
繰入金金は、財政調整基金から5億円、地域振興基金繰入金から3億3200万円など、総額で約10億6400万円を繰り入れて対応しています。

なお、市債は、新クリーンセンター整備事業や公立こども園整備事業等の財源として、前年度当初に比べ22億4990万円の増となり、41億4830万円となりました。

引き続き、市民の皆さんの積極的な参加をいただきながら、徹底した透明化と建設的な政策づくり、そしてその実現による新しい形のまちづくりを進めます。

一般会計(科目別)内訳

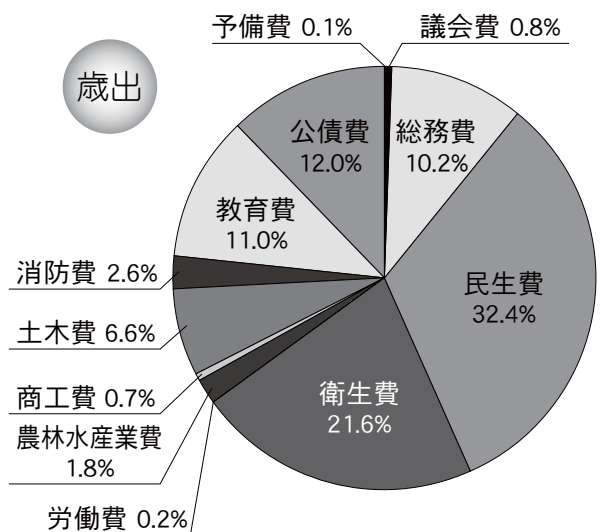
歳入



一般会計予算額(歳入)

依存財源		自主財源	
科目	金額	科目	金額
地方譲与税・県税交付金等	10億8,730万円	市税	84億8,801万3千円
地方交付税	23億9,500万円	繰入金	10億6,366万5千円
国・県支出金	43億6,078万3千円	財産収入・寄附金・繰越金	9,633万1千円
市債	41億4,830万円	負担金・使用料等	10億6,329万7千円
歳入合計	230億5,000万円	諸収入	3億4,731万1千円

歳出



一般会計予算額(歳出)

科目	金額	科目	金額
議会費	1億9,085万2千円	土木費	15億2,063万7千円
総務費	23億6,601万8千円	消防費	6億523万3千円
民生費	74億6,654万2千円	教育費	25億5,228万2千円
衛生費	49億7,819万7千円	公債費	27億5,517万7千円
労働費	3,989万1千円	予備費	1,000万円
農林水産業費	4億1,158万9千円	歳出合計	230億5,000万円
商工費	1億5,358万2千円		

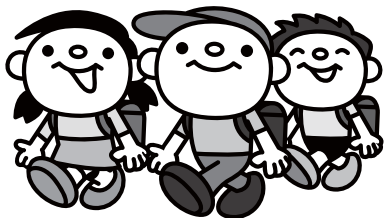
◎会計別予算総括表

●会計	平成27年度予算	平成26年度予算	増減率
●一般会計	230億5,000万円	191億6,000万円	20.3%
●特別会計			
国民健康保険事業	55億5,298万円	48億1,236万円	15.4%
後期高齢者医療	4億6,654万3千円	4億5,868万3千円	1.7%
介護保険事業	36億7,562万4千円	34億9,776万1千円	5.1%
地域医療振興資金貸付事業	7,450万円	5,680万円	31.2%
下水道事業	20億7,157万6千円	19億7,219万1千円	5.0%
墓地公園事業	1,614万8千円	1,059万3千円	52.4%
基幹水利施設管理事業	1,342万8千円	1,342万7千円	0.0%
工業団地等整備事業	16億5,438万7千円	17億7,328万7千円	△6.7%
土地取得	6億7,395万8千円	1,125万円	5890.7%
●公営企業会計			
水道事業会計	11億9,599万4千円	11億117万1千円	8.6%

平成27年度の主な事業を総合計画に掲げる 6つの「まちづくり基本目標」ごとに紹介します

1 豊かな人間性をはぐくむまち

- 公立こども園施設整備・継続【重点事業】（7億1710万1千円）
（仮称）野洲第1こども園の開園に向けて、園舎建築工事に取り組みます。
園舎建築監理委託……………1115万6千円
園舎建築工事……………6億8692万2千円
その他工事関連経費……………1902万3千円
- 児童手当・継続（9億5177万5千円）
△支給額▽
3歳未満……………1万5千円
3歳以上小学校修了前……………第1・2子／1万円、第3子以降／1万5千円
中学生……………1万円
所得制限世帯……………5千円
- 学童保育所運営費・継続（2億9632万8千円）
野洲市社会福祉協議会へこどもの家の運営を指定管理委託し、安心・安全なこどもの居場所づくりを行います。
- 特別支援教育の充実、不登校対策・継続【重点事業】（4830万9千円）
△特別支援教育の充実▽
障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を行うため、コーディネーター加配や支援員の配置、巡回相談員の派遣等を行います。
△不登校児童・生徒への支援▽
不登校児童・生徒を支援するため、心のオアシス相談員やスクーリング・ケアサポーターを学校に派遣して、不登校の未然防止や支援の充実を図ります。
また、不登校児童・生徒の学校復帰をめざして、ふれあい教育相談センターで適応指導教室、こころの教育相談を実施します。



2 人とひとが支え合う安心なまち

- 学校ICT環境整備・新規（488万4千円）
学校におけるICT環境の整備を進めるため、小・中学校の内おのおの1校をモデル校とし、タブレット端末等の関連機器を導入します。
- 扶助費・継続
障がい者自立支援費……………7億9345万4千円
福祉医療助成費……………3億5339万8千円
生活保護費……………3億8633万9千円
- （仮称）野洲市立病院整備事業・継続【重点事業】（101万2千円）
本市の地域医療サービスの継続に向けた中核的医療拠点として、（仮称）野洲市立病院の整備を進めます。
- 障がいのある人の相談支援の充実に向けた体制整備・拡充（3505万9千円）
障がいのある人やその家族等が身近に相談できる拠点を新たに市内に整備し、安心して地域で自立した生活を送るための支援を充実します。
- 発達支援事業費・拡充（127万円）
来所や電話による相談や巡回発達相談事業に加え、保育所等訪問支援事業や、乳幼児期の発達相談の一元化によりその内容を充実し、乳幼児期から成人期までの発達に支援を必要とする人とその家族や支援者に対する相談支援を実施します。また、新たに障害児計画相談事業を開始し、障害児通所サービス利用者等に対して障害児支援利用計画を作成し、総合的に支援します。
- 保健事業費（各種検診等）・継続（3645万7千円）
生涯にわたり健康を維持できるよう健康相談、健康教育、がん検診、訪問指導等を実施します。
乳がん・子宮がん・大腸がん検診に係る無料クーポン券の配布は平成27年度も継続します。大腸がん検診については、個別医療機関を拡大します。
- 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金・継続（1億627万2千円）
前年度に引き続き、消費税率の引き上げによる負担増を考慮して、低所得

者や子育て世帯への影響を緩和するとともに、消費を下支えする観点から、暫定的・臨時的に給付金を支給します。

臨時福祉給付金……………7045万円

子育て世帯臨時特例給付金……………3582万2千円

○生活困窮者支援事業・継続【重点事業】(2433万7千円)

経済的困窮もしくは社会的孤立により、生活困窮状態に陥っている人を対象に就労支援や家計相談支援を行うなど、市役所の総合力で相談者の発見、生活再建支援を実施します。また、新たに貧困連鎖を断ち切ることで、貧困化を防ぐことを目的として、学習支援事業に取り組みます。

3 地域を支える活力を生むまち

○多面的機能支払交付金・継続(779万6千円)

農業者と非農業者が共同で、または農業者が単独で取り組む農地や農業用施設の保全活動および農村環境向上のための活動を支援します。

○中小企業利子補給金・継続(605万5千円)

市内で営業する中小企業が市の定める融資制度を利用した場合、その支払利息の一部を補給します。

○野洲市夏まつり実行委員会運営事業補助金・新規(200万円)

野洲川花火大会を含む野洲市夏まつりを開催します。市民と行政が協働して実行委員会方式で開催することにより、地域資源を生かした活力ある大会をめざします。

4 美しい風土を守り育てるまち

○新グリーンセンター施設整備・継続【重点事業】(32億114万1千円)

平成28年10月の操業開始に向けて、引き続き新センターの建設工事を進めます。

また、新センターの包括的管理運営事業の技術審査委員会を設け、要求水準などを審査します。

建設工事関連……………31億8901万5千円

包括的管理運営事業関連……………1212万6千円

○環境基本計画策定業務・新規(324万円)

第2次環境基本計画の策定に取り組みます。

5 うるおいとにぎわいのある快適なまち

○篠原駅周辺都市基盤整備・継続【重点事業】(2736万7千円)

前年度に引き続き、本市と近江八幡市、竜王町との2市1町でJR篠原駅周辺整備事業に取り組みます。今年度で自由通路と駅舎の工事を完了し、今秋から供用します。

○コミュニティバス運行費・継続(3704万5千円)

公共交通機関の一つであるコミュニティバスをきめ細かく運行することにより、地域住民の移動手段の確保と便宜の向上を図ります。

○交通安全施設整備事業・継続【重点事業】(3456万1千円)

通学児童をはじめとする歩行者等の安全を確保し、道路安全施設等の適正な維持管理と整備を行うことで、交通事故の減少、注意喚起を図ります。

○雨水対策事業・継続【重点事業】(1億5310万4千円)

祇王井川第2排水区域に係る常襲的な浸水被害を解消するため、雨水幹線を整備し、浸水被害を軽減します。

○野洲駅周辺都市基盤整備・継続【重点事業】(6億4590万7千円)

JR野洲駅周辺のにぎわいの創出と安心・安全のため、野洲駅南口整備の基本計画策定や野洲駅北口広場の整備等を行います。

○道路維持工事・継続(1億167万3千円)

危険度の高い箇所や修繕や整備優先度の高い箇所の整備を行うことで、健全な道路環境を維持します。

6 市民と行政がともにつくるまち

○市ホームページリニューアル事業・新規(114万4千円)

行政情報や防災情報等を速やかに提供できるよう、利用者にとってわかりやすいホームページにリニューアルします。

○大型バス更新事業・新規(2147万1千円)

現行バスの老朽化に伴い、市民活動を推進するとともに安全で快適なバス運行を確保するため、新規車両に更新します。

